

「わがまち再発見！」

陶山訥庵先生 生誕350年祭によせて



陶山訥庵先生肖像（修善寺蔵）

今年の11月28日は、江戸時代の日本を代表する儒学者で、政治家でもあった対馬聖人・陶山訥庵先生（初め五一郎、のち庄右衛門）が生まれてちょうど350回目の誕生日に当たります。先生は幼いころから、かしく頭がいいので、みんな「あの子は神様の子だ」と噂したそうです。またとても母親思いで、6歳のころ母が作ってくれた足袋を「もつたいない」といつてはくのを遠慮したという話も伝わっています。

陶山庄右衛門は、今から350年前の明暦3（1657）年厳原に生まれました。寛文7（1667）年11歳のとき京都に遊学、のち江戸に出て木下順庵の門にはいりました。会津藩今の福島県）の山崎安斎、岡山藩の熊沢蕃山と並び称せられた木下順庵は、その塾から木門五先生、木門十哲など多彩な学者を世に送りましたが、五一郎の才を見た順庵は、室新助（鳩巢）とならんで、「わが門下の双璧（二人の優れた人物）」と激

対馬市教育委員会 文化財課
0920(54)2341

賞しました。

このように、訥庵先生は師の順庵先生からも高い評価をうけた人でしたから、早くから人々の間でも知られていたとみえ、江戸時代の終りごろにできた『先哲叢談』という人名辞典に、藤原惺窩、木下順庵、新井白石、雨森芳洲など、173名の学者とともに、先生の名前がのっています。その解説の中に「没後70年後の（今）になっても、対馬の人たちは老若男女、小さな子どもにいたるまで、だれ一人として先生の名を知らない者はいない」と書いてあります。

儒学：人の生き方などを説く中国の古くからの学問。
京都の人、將軍綱吉の侍講。
京都の人、門弟多く、「数千人」。
京都の人、池田光政侯の執政。
江戸の人、順庵言わが益友。
京都冷泉家出身、民間の大儒。
江戸の人、政治家、地理学者。
近江の人、対馬藩に出仕、儒者。

（ 生誕350年祭 実行委員会・小松勝助 ）

【対馬縦断古文書講読会のお知らせ】

趣旨「陶山訥庵先生 生誕350年祭」にちなんで、近世文書の中から、分かりやすく平易な史料を選んで、広く市民の皆様と、対馬に残っている地方文書の一部を読むことで、江戸時代を垣間見るひとつの機会にしようとするものです。

古文書の内容 次のような史料の中から何点か選ぶ予定です。

陶山訥庵先生関係史料

宗家文庫史料（日記類、記録類の中から）
家文書（島内諸家に伝来する家文書の中から）

期日と場所、講師 歴史に関心のある方がなるべく出席しやすいように、島内6カ所で行います。また11月10日（土）に行なわれる生誕祭への関心を高めていただくためもあり、生誕祭直前の9月・10月に、集中的に実施します。

- | | | |
|-----------|-----------|--------------|
| 9月1日（土） | 豊玉地区公民館 | 中島新吾 久田中学校教諭 |
| 9月8日（土） | 峰地区公民館 | 俵 裕一（歴史学芸員補） |
| 10月13日（土） | 上対馬地区公民館 | 西山 篤 市教委指導主事 |
| 10月14日（日） | 上県地区公民館 | 長郷直明 佐護中学校長 |
| 10月20日（土） | 対馬市交流センター | 小松勝助 厳原幼稚園長 |
| 10月27日（日） | 美津島地区公民館 | 大森公善 対馬歴史館長 |

時間 昼食をはさんで4時間程度（10時～15時）

受講申込 各地区公民館へ、電話かFAXで申し込んで下さい。

締切 豊玉・峰会場は、8月31日まで

上県・上対馬・美津島・厳原会場は、9月28日まで

参加費 複写代200円

【問合せ先】 陶山訥庵先生 生誕350年祭実行委員会事務局

〒817-0322 対馬市美津島町雑知甲550番地2
対馬市教育委員会文化財課 0920(54)2341